



河北医科大学

Hebei Medical University



●学部学生9,781人（本科生のみ） ●大学院生3,431人 ●教職員11,186人 ●留学生約300人
ホームページ <http://www.hebmu.edu.cn/>

交流協定締結年月日：2001年11月27日 主管学部：医学部 2018年5月21日大学間協定締結



メインキャンパスと図書館



令和6年5月17日河北医科大学学生と本学学生との交流会

国際交流の特色

河北医科大学は1894年に端を発し、他大学との統合により1995年5月に現在の大学となっている。河北省石家庄市に位置し、昔から東西の交通の要衝としても知られている。大学の構成は、学部14、大学院博士課程42、修士課程68のコースである。学生数は本科生10,491人、留学生400人（日本、韓国等）である。教職員は12,443人を超える、学生の指導にあたっている。さらに、河北医科大学は5箇所の附属病院を有し、非常に高水準な教育・研究・診療がなされている。また、日本をはじめ韓国、アメリカ、フランス、イギリス、パキスタン等の海外の大学と共同研究を活発に行っている。

交流実績（令和4年度～令和6年度）

年度 受入・派遣	R4	R5	R6
学生の受入	0	0	6
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	0	2
研究者・職員の派遣	0	0	0
オンライン交流参加者（本学）	0	0	4
オンライン交流参加者（相手機関）	0	0	47

教員からの声

河北医科大学は大きな規模の大学で、基礎医学院、口腔医学院、成人教育学院、薬学院、公共衛生学院、衛生技術学院、臨床医学院からなっている総合的な医学教育機関です。さらに、大学には第1から第6までの附属病院があり、非常に充実した臨床教育が行われています。特にこの中でも第4附属病院における食道がんの症例数は世界に類がないほど多く、諸外国の大学と共同研究が進められています。

現在、中華人民共和国だけでなく世界的にコロナ感染が収束してきました。令和6年5月16日から20日河北医科大学学生6名および教員（Liu Lijun基礎医学院書記長、Na Jia医学教育学准教授）2名が来行され、本学学生および教職員研究者間で学術文化交流が実施されました。

医学部教授 三宅 実



学生からの声

みなさん、こんにちは。河北医科大学で口腔学を専攻しておりました郭一満と申します。2017年に来日し、香川大学医学部大学院に入学、4年間研究をしました。歯科口腔外科学講座および生化学講座でたくさんのこと学びました。日本で生活をし、母国である中国と日本の文化的背景に大きな違いはないと感じています。学位を取得後、2021年3月に帰国しました。

2022年4月より、北京の首都医科大学口腔科歯科矯正科に就職し、現在研究活動を主体に仕事をしています。一年が経過しました。香川大学で学んだ経験を生かして研究を行っています。矯正歯科治療におけるエナメル質の脱灰を抑制する新素材や口蓋裂診断の論文を作成しました。本年4月には、西山医学部長、和田副学長、三宅口腔外科教授と河北医科大学でお会いできて嬉しかったです。

香川大学 大学院生卒業生 郭一満